

# 道路づくりで活気溢れる “ふるさと島根”を創造



## 山陰道の整備促進 開通目標の確実な達成

- ・ 県内整備率 R6年度；約75% ⇒ R7年度；約83%目標



## まっこく工事状況の発信

- ・ 現場見学会、式典の実施やSNSを通じて、積極的に発信



## 「ICT活用 全国トップランナーへ」

- ・ 山陰道の関連工事から管理系工事への展開
- ・ 自治体発注工事への普及

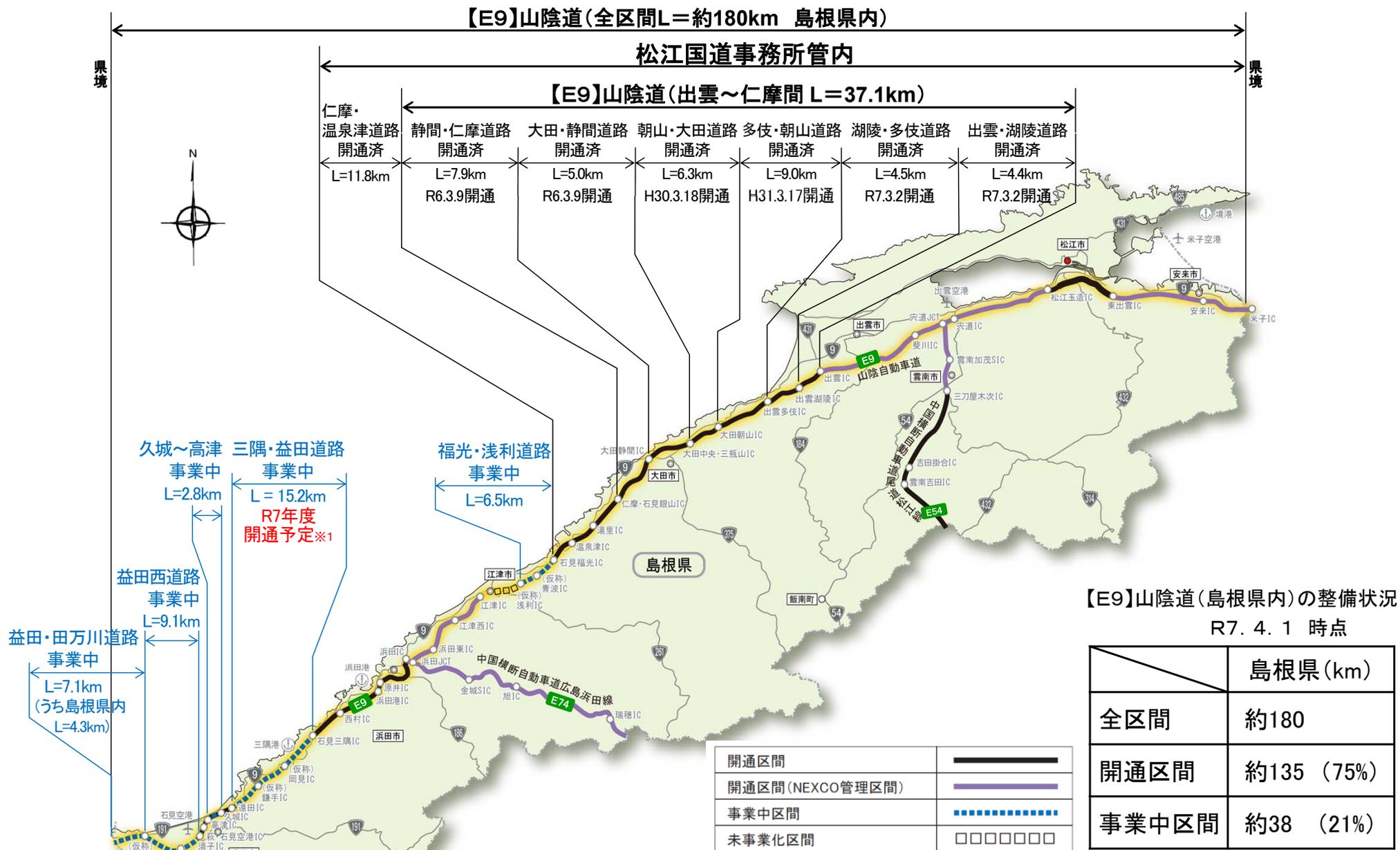


## 働く環境改善「週休2日宣言」

- ・ 建設業界と一体となった担い手確保、環境整備の取組

# E9 山陰道の整備状況（島根県内）

- 県内の山陰道整備を促進
- 令和7年度までに、約83%整備を目標



※1:トンネル工事・大規模橋梁工事・大規模法面対策工事等が順調に進捗した場合

※横断道重複区間除く

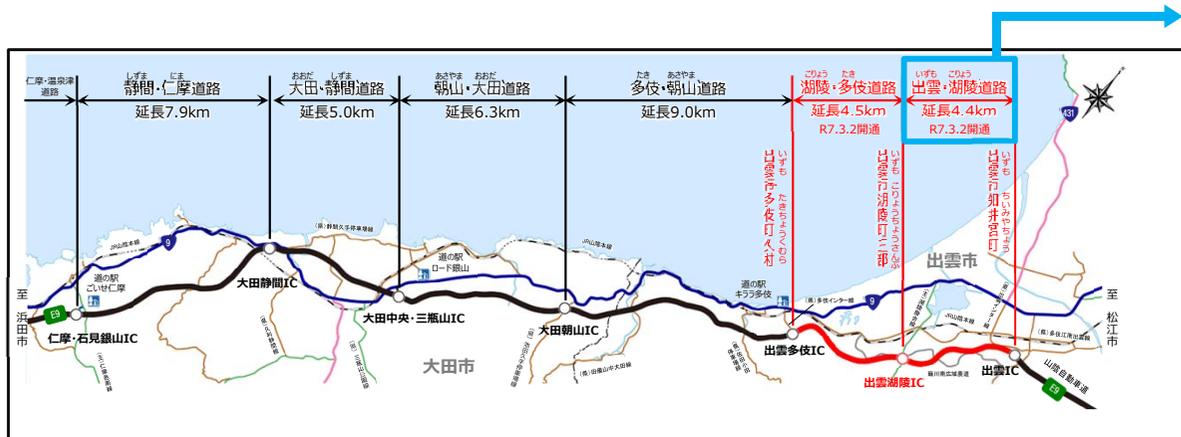
# E9 山陰道の事業経緯



項目 \ 区間	静間・仁摩道路	大田・静間道路	朝山・大田道路	多伎・朝山道路	湖陵・多伎道路	出雲・湖陵道路
区間延長	7.9km	5.0km	6.3km	9.0km	4.5km	4.4km
事業化年度	H20年度	H24年度	H19年度	H18年度	H24年度	H20年度
用地着手	H23年度	H26年度	H21年度	H20年度	H26年度	H23年度
工事着手	H25年度	H27年度	H23年度	H20年度	H27年度	H25年度
開通年月日	R6.3.9	R6.3.9	H30.3.18	H31.3.17	R7.3.2	R7.3.2

# E9 山陰道 出雲・湖陵道路 完成状況

いづも こりよう



①東組高架橋付近(西側方向)



②麓高架橋付近(東側方向)



③坂本高架橋付近(西側方向)



④常楽寺板高高架橋付近(西側方向)



⑤常楽寺高架橋付近(西側方向)



⑥出雲湖陵IC付近(北側方向)



# E9 山陰道 湖陵・多伎道路 完成状況



① 出雲湖陵IC付近 (西側方向)



② 二部地区 (西側方向)



③ 姉谷川高架橋付近 (東側方向)



④ 久村赤松高架橋付近 (西側方向)



⑤ 久村地区 (西側方向)



⑥ 出雲多伎IC付近 (西側方向)



- 開通記念イベント（2月22日開催）では、本線上及び湖陵総合公園でイベントを開催。
- 本線上では、サイクリング、ランニング、ウォーキングを実施し、約1,500人が参加。
- 湖陵総合公園では、ステージイベント、テント村、企業ブース、はしご車乗車体験等に約1,000人が参加。

### ■ 本線イベント(約1,500人参加)



■ サイクリング



■ プロジェクションマッピング(トンネル)

### ■ 湖陵総合公園イベント(約1,000人参加)



■ 挨拶



■ ステージイベント



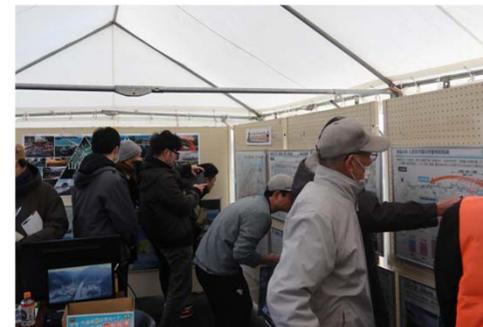
■ ランニング



■ ウォーキング



■ テント村



■ 山陰道PRブース



■ はしご車乗車体験

# E9 山陰道 出雲・湖陵道路 湖陵・多伎道路 開通式典を開催

- 令和7年3月2日（日）山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通式典を開催。
- 山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路は、産業振興、周遊観光促進、企業活動支援、災害時の円滑な移動、救急時の信頼性確保等に寄与。
- 事業の完成を祝い、国土交通大臣政務官、関係国会議員、島根県知事、出雲市長をはじめ、約330人が出席し開通式典、祝賀行事が執り行われ、17時に一般開放しました。

## 事業概要

	出雲・湖陵道路	湖陵・多伎道路
事業着手	平成20年度	平成24年度
全体事業費	約398億円	約284億円

## 開催概要

開催日時	令和7年3月2日（日）9：30～
式典会場	出雲市立湖陵中学校
祝賀会場	出雲湖陵IC
共催	島根県、出雲市、 西日本高速道路株式会社中国支社、 国土交通省中国地方整備局



## 式典・祝賀行事



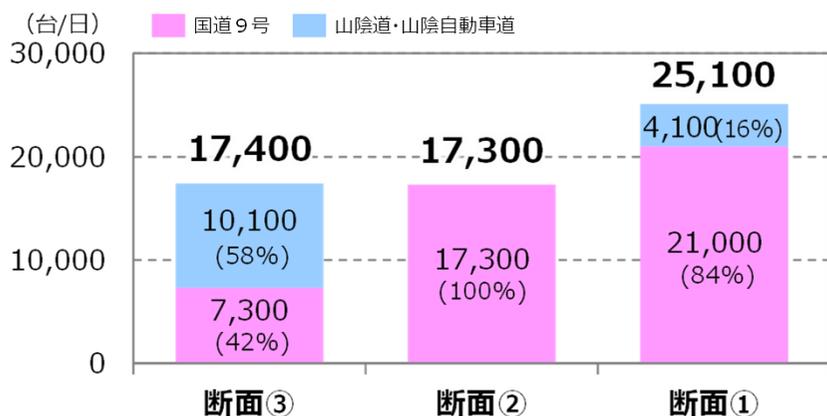
# E9 主要都市間の所要時間短縮

- 東西に長い島根県は、東西主要都市間（島根県庁～浜田市役所）の移動に時間を要しています。山陰道が整備されることで移動時間が短縮され、人流、物流、産業、観光等の様々な分野での交流活性化が期待されています。

## 位置図



## 主要断面の交通量（開通前）



資料：国道9号は交通量調査およびCCTVAIによる観測値、山陰道は常設トラカンによる観測値およびNEXCOによる交通量調査、観測日はR6.9.11(水)

## 所要時間短縮効果



資料：大田・静間道路、静間・仁摩道路のみETC2.0プローブデータ(R6.8)、出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路はV=70km/h  
その他道路は、R3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時平均旅行速度より算出

# E9 地域安全保障の確保（迂回路確保）

- 島根県東部の国道9号では、災害や事故による通行止めによって大幅な迂回を強いられ、生活や物流に大きな支障をきたしてきました。
- 出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路の開通によって、島根県東部地域のエッセンシャルネットワークが構築され、通行止め時の代替機能向上が期待されます。

## ■ 国道9号の通行止め実績と迂回状況



山陰道開通前と比較し迂回距離が  
**計約30km短縮  
大幅な迂回解消**

※山陰道開通前は出雲IC～仁摩・石見鍋山IC間が未整備時点での算出。  
※出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路は、V=70km/h、市道はV=30km/hとして算出。  
資料:  
【山陰道開通前】  
H27全国道路・街路交通情勢調査  
道路時平均旅行速度  
【現況】  
【山陰道開通後】  
(通常時)H27全国道路・街路交通情勢調査  
道路時平均旅行速度  
(迂回路)R3全国道路・街路交通情勢調査  
道路時平均旅行速度

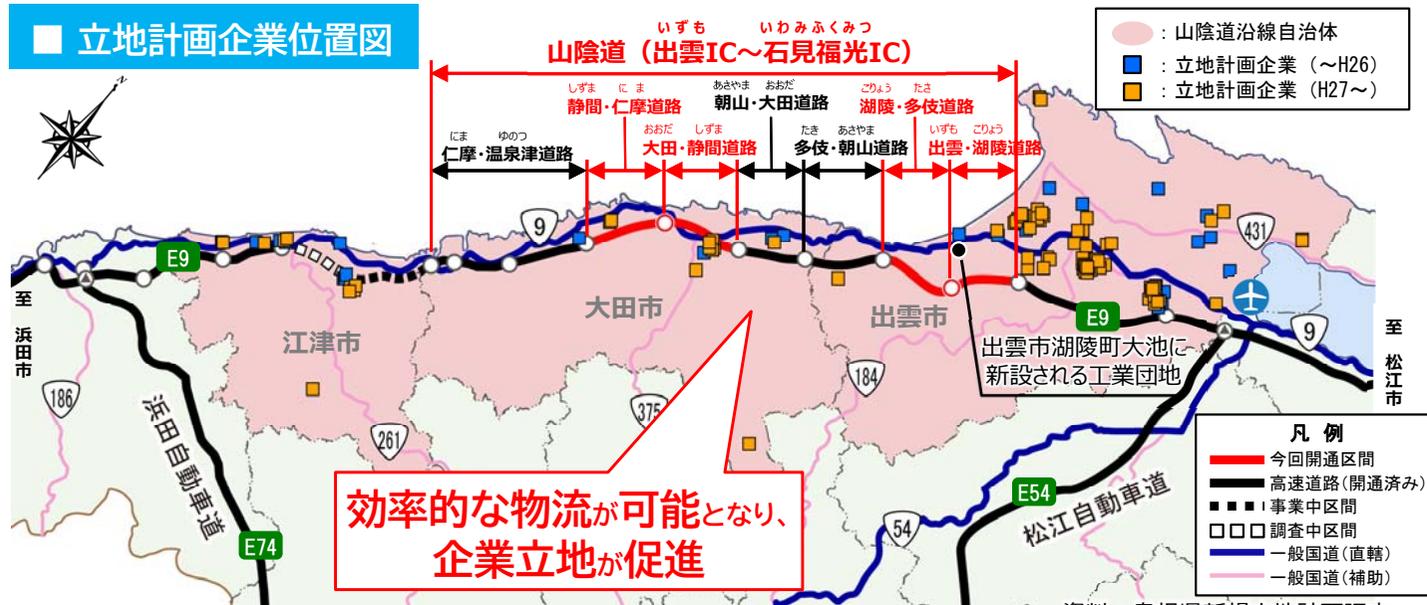
**開通済の山陰道が代替路として機能**

令和3年8月の大雨により、国道9号(出雲市多伎町内)で地すべりが発生し、約2ヶ月間にわたり全面通行止めとなりましたが、国道9号に並行して整備された多伎・朝山道路が代替路として有効に機能しました。

# E9 企業立地を支援しています！

- 山陰道 出雲IC～石見福光ICの沿線は、山陰道の段階的な開通に伴い、企業立地が進んでいます。
- 山陰道が連続することにより、効率的な物流ネットワークが構築されることで、雇用エリアの拡大や新たな工業団地の計画に繋がりが、更なる企業立地を支援しています。

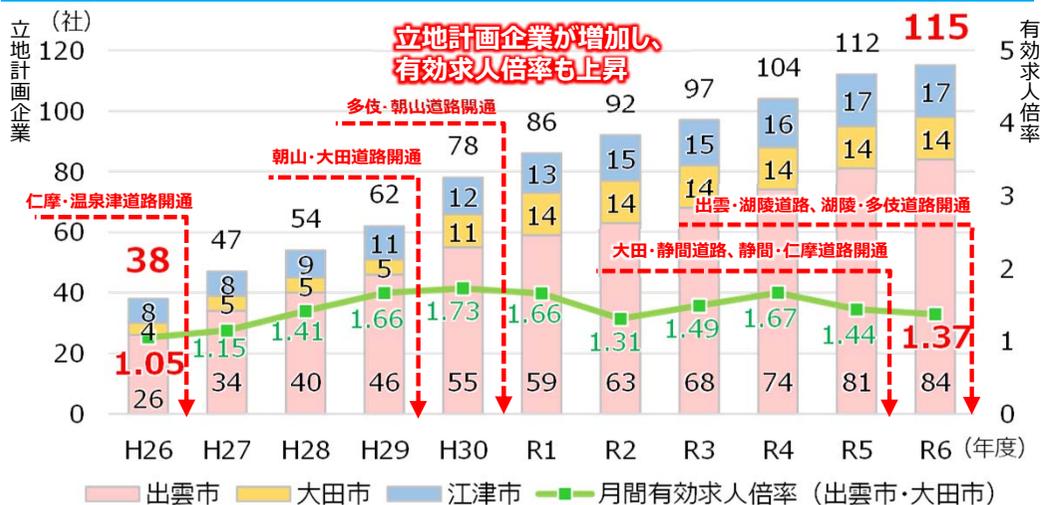
## 立地計画企業位置図



## 出雲市湖陵町大池に新設される工業団地



## 沿線地域における立地計画企業(累計)、有効求人倍率の推移



## 地域の声



### <道路利用者の声>

- 時間が短縮され、別の事に時間を割くことが出来るようになりました。
- 出雲市在住ですが、浜田市までは通勤圏内だと思います。

(R7年5月 地域住民webアンケート調査結果)

### <出雲市職員の声>

- 企業は慢性的な人手不足であり、雇用のエリアが広がることは、人手不足の緩和にも貢献すると考えます。
- 山陰道の開通が新しく湖陵町大池の工業団地を整備する理由のひとつです。

(R7年5月 出雲市役所ヒアリング調査結果)



お知らせ



国土を繋ぐ、全力で備える  
国土交通省中国地方整備局  
松江国道事務所  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and  
Tourism Chugoku Regional Development Bureau,  
Matsue National Highway office

<同時資料提供先> 島根県政記者会

令和7年10月31日

## 【E9】山陰道 出雲IC～石見福光IC間が 繋がって半年後の交通状況・整備効果

～物流や観光等の様々な分野への支援に繋がっています！～

令和6年3月9日（土）に山陰道 大田・静間道路、静間・仁摩道路、  
令和7年3月2日（日）に山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路が  
開通したことにより、山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がって半年  
が経ちました。整備効果をとりとめましたので、お知らせします。

### 《 概要 》

#### ○山陰道・国道9号の交通状況

⇒山陰道と国道9号の**断面交通量が1～3割増加！**

#### ○物流の効率化を支援

⇒物流の輸送時間が短縮し、**輸送可能範囲拡大及びドライバーの労働環境が改善！**

#### ○周遊観光の促進を支援

⇒島根県西部の観光地を含めた**観光圏域が拡大し、周遊観光を促進！**

#### ○移動時間の短縮による余暇時間の充実を支援

⇒島根県の東西の**アクセス性が向上し、趣味・娯楽を楽しむ機会が増加！**

#### ○血液輸送の速達性・確実性の向上を支援

⇒血液の輸送時間が短縮し、**緊急時の救命活動に貢献！**

※今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

#### 問い合わせ先

■国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副所長（改築） 今田 修（いまだ おさむ）

【担当】 計画課長 水田 雄士（みずた ゆうじ）

TEL: (0852) 26-2131（代表）

松江国道事務所HP: <https://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

※松江国道事務所では、X (旧Twitter)による情報発信を行っています。

X: [https://x.com/road\\_matsue](https://x.com/road_matsue)

※道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ



松江国道事務所  
HP



松江国道事務所  
X (旧Twitter)

# E9 山陰道・国道9号の交通状況

- 山陰道 大田・静間道路、静間・仁摩道路が令和6年3月9日（土）、山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路が令和7年3月2日（日）にそれぞれ開通し、山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がりました。
- 令和5年度・6年度に開通した区間では、国道9号と山陰道を合計した断面交通量は約1～3割増加しています。

## 位置図

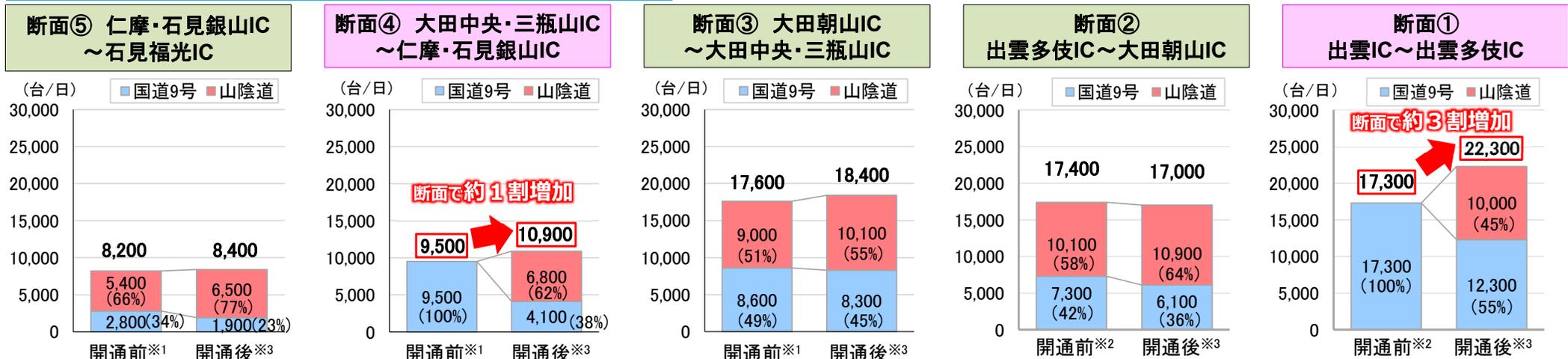


写真① 出雲・湖陵道路利用状況



写真② 静間・仁摩道路利用状況

## ■ 国道9号と山陰道の開通前後における交通量の比較



※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前：R5.9.27(水)、R5.10.4(水)

※2 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路開通前：R6.9.11(水)

※3 山陰道（出雲IC～石見福光IC）開通半年後：R7.9.3(水)

# E9 物流の効率化を支援しています！

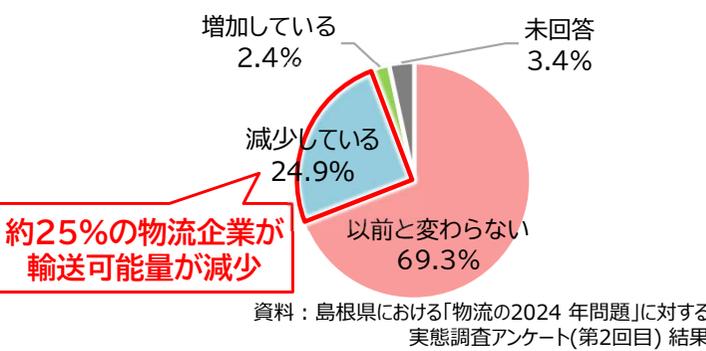
- 2024年4月から全国でトラックドライバーの働き方改革関連法が施行され、時間外労働の規制や拘束時間の規制が行われました。これにより、島根県内における物流企業の約25%は輸送可能量が減少しました。
- 一方で、松江市から浜田市へ輸送を行っている物流企業は、山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がることで往復時間が1時間短縮することにより、拘束時間の超過のために実現できなかった輸送が可能になりました。
- 山陰道の利用により、物流の輸送可能範囲の拡大及びドライバーの労働環境の改善に貢献しています。

## 働き方改革関連法を踏まえた物流事例

### 開通前の輸送状況※1(働き方改革関連法を考慮した場合)



## 島根県内の2024年問題による輸送可能量の減少



### 開通後の輸送状況※2



## 地域の声

### <松江市の配送業者の声>

➤ 今回開通した区間を利用することで、輸送時間が短縮し、1人当たりの労働時間が年間約135時間の短縮となります。残業時間が大幅に削減され、ドライバーの労働環境が改善されています。

(R7年9月 物流企業ヒアリング調査結果)

### <出雲市の配送業者の声>

➤ 燃料費が高騰している中、山陰道開通による輸送時間の削減により、支出が抑えられています。

(R7年9月 物流企業ヒアリング調査結果)

※所要時間は、物流企業ヒアリング調査結果より  
 ※所要時間は、休憩や荷下ろし等の時間も含む  
 ※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前  
 ※2 山陰道(出雲IC～石見福光IC)開通後

# E9 周遊観光の促進を支援しています！

- 島根県及び大田市は、山陰道の開通に伴い旅行ツアー会社と周遊観光商品の企画や観光パンフレットの作成を行っています。
- 山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がることで、地域間の移動時間が短縮したことから、島根県西部の観光地を含めた観光圏域の拡大や短縮時間を踏まえた観光客やツアー会社へのPR活動が可能になりました。
- 実際に、島根県西部における主要観光地の観光客数は増加しており、山陰道が周遊観光の促進を支援しています。

## ■ 島根県の周遊観光商品における観光圏域の変化

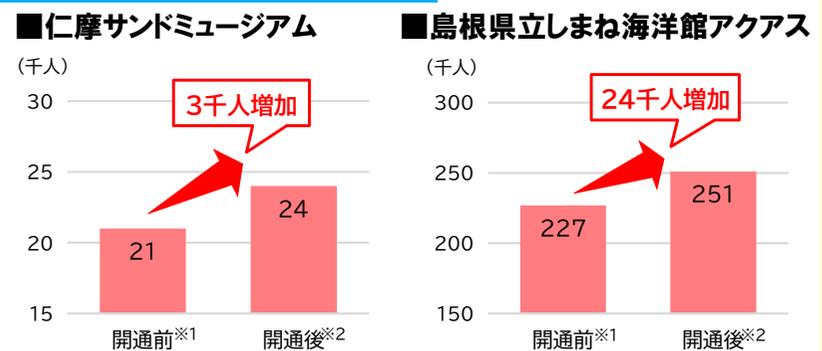


島根県東部の観光・交通拠点で配布、観光ツアー会社にPR

## ■ 大田市観光協会による移動時間のPR



## ■ 施設別観光客数の推移



資料：島根県月別主要観光動向  
※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前：R5年3月～8月  
※2 山陰道 (出雲IC～石見福光IC) 開通後：R7年3月～8月

## 地域の声

**<旅行会社の声>**

➤ 元々は松江市や出雲市の観光地をメインとしていましたが、それに加えて、**山陰道が開通し広域的な旅行商品**を作っていくという事で新たな周遊観光商品の販売を始めました。

(R7年9月 島根県内旅行会社ヒアリング調査結果)

**<大田市観光協会の声>**

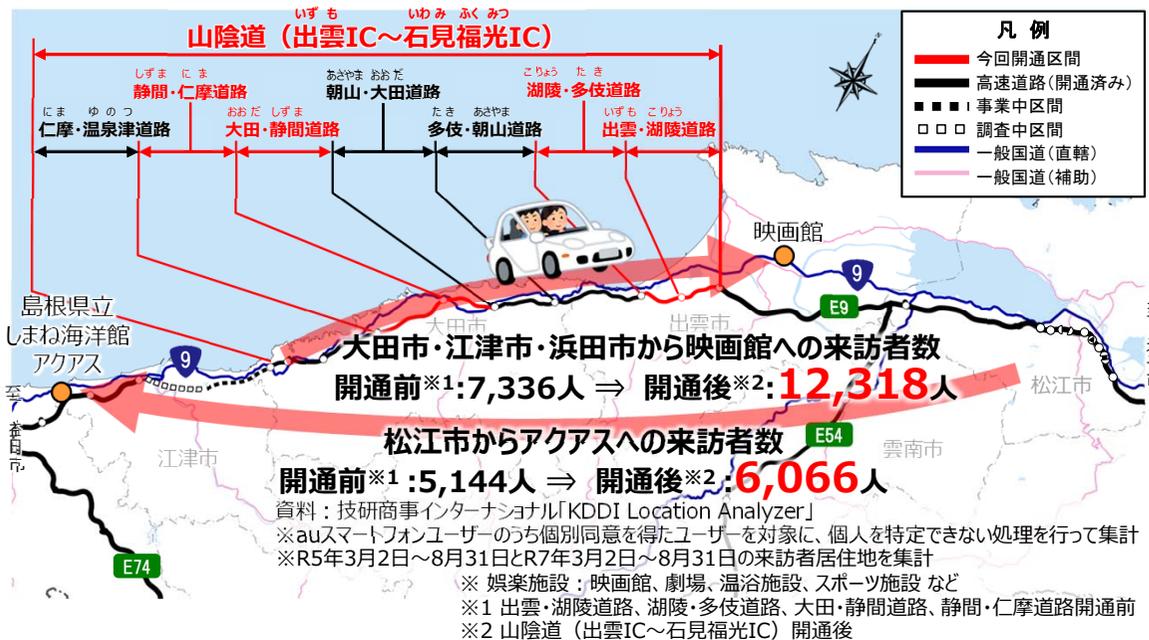
➤ 山陰道開通による地域間の所要時間短縮について、島根県を訪れる観光客の方々に周知を図るため、**出雲縁結び空港や周辺レンタカー会社へチラシを配布したり、県外での観光商談会では旅行会社に対してPR活動**を行っています。配布したチラシは大変好評で、旅行会社からは「**そんなに近くなったのか**」といった**驚きの反応**もいただいております。

(R7年9月 大田市観光協会ヒアリング調査結果)

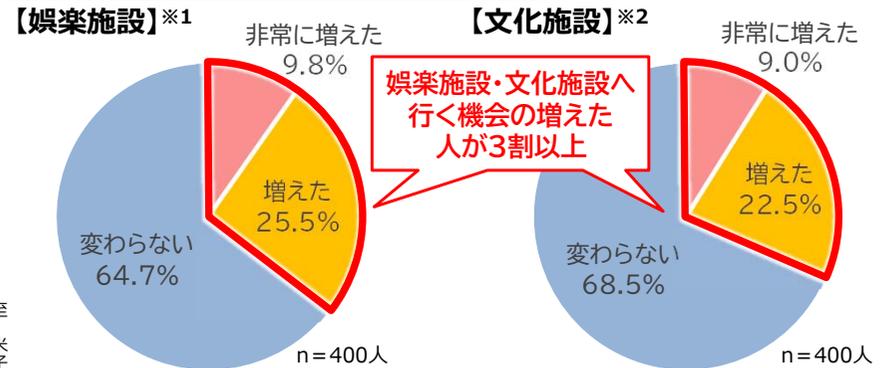
# E9 移動時間の短縮による余暇時間の充実を支援しています！

- 島根県内には映画館やレジャー施設などが少ないことから、趣味・娯楽に使う時間が全国最下位となっています。
- 山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がることで、島根県内の東西におけるアクセス性が向上し、島根県東部からは島根県立しまね海洋館アクアス等のレジャー施設、島根県西部からは島根県東部の映画館等へ訪れる機会が増加しました。
- 山陰道の開通は、島根県民の趣味・娯楽を楽しむ機会の増加に貢献しています。

## ■ 島根県における娯楽施設の訪問数の変化

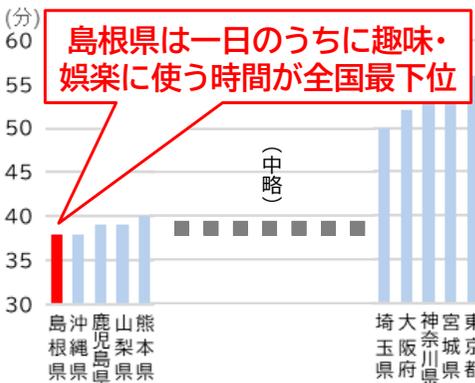


## ■ 山陰道開通後の施設訪問機会



資料：R7年5月 地域住民webアンケート調査結果  
 ※山陰道開通区間沿線地域の住民を対象 (出雲市、大田市、江津市、浜田市、美郷町、川本町、邑南町)  
 ※1 娯楽施設：映画館、劇場、温浴施設、スポーツ施設 など  
 ※2 文化施設：図書館、博物館、美術館 など

## ■ 趣味・娯楽に関する総平均時間の全国状況 (10歳以上)



## ■ 山陰道の整備段階を踏まえた出雲ICから石見福光ICまでの所要時間



資料：H22全国道路・街路交通情勢調査  
 ※1 山陰道 (出雲IC～石見福光IC) 未整備 (国道9号)  
 資料：ETC2.0プローブデータ  
 ※2 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前：R5.7平日12時間平均  
 ※3 山陰道 (出雲IC～石見福光IC) 開通後：R7.7平日12時間平均  
 ※山陰道未整備、開通前は出雲ICアクセス道路が国道9号と交わる交差点を起終点として算出

## 地域の声



<出雲市在住者の声>  
 ➤ アクアスへ行きやすくなりました。  
 ➤ 三瓶山に行く時、開通前はずっと山道で移動が大変でしたが、**山陰道ができたことで移動時間が短くなり運転が楽になりました。**

(R7年5月 地域住民webアンケート調査結果)

### <大田市以西在住者の声>

➤ 山陰道が開通し、**出雲市だけでなく松江市の美術館等へも行きやすくなりました。**  
 ➤ 映画の上映時間に**余裕を持って行けるようになったのでストレスが減りました。**



(R7年5月 地域住民webアンケート調査結果)

# E9 血液輸送の速達性・確実性の向上を支援しています！

- 手術などで使用される血液は使用期限が短く、救急医療機関ではストック数を最小限にしています。
- そのため、事故発生等により急患が運ばれてきた際は救急医療機関や浜田市の血液センターにストックしている血液では足りず、松江市の血液センターから血液を緊急輸送する場合があります。
- 山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がることで血液輸送の所要時間が短縮し、緊急時の救命活動に貢献しています。

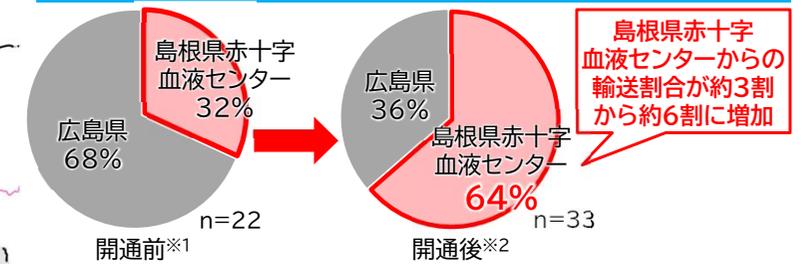
## 緊急的な血液輸送の状況の例



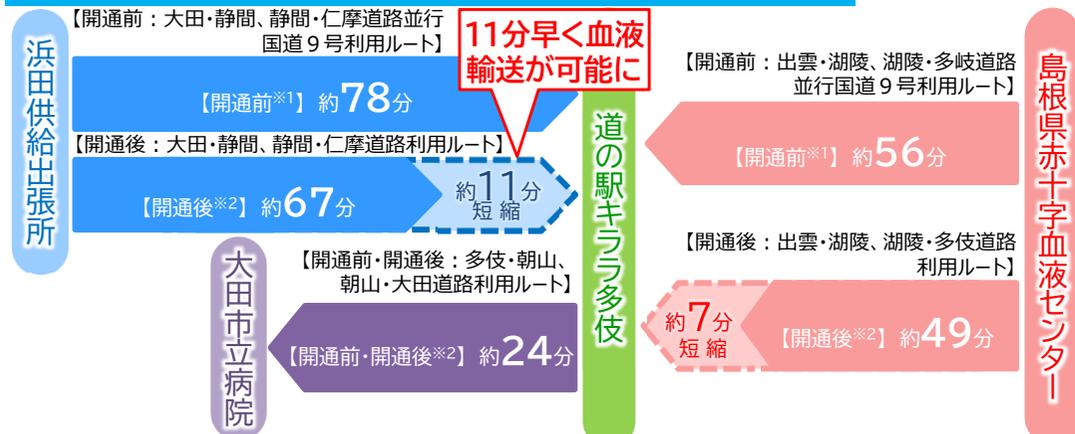
## 島根県における血液製剤の供給状況

輸血用血液製剤の種類	血液製剤の供給本数 (R6年度) ※200ml単位換算	使用期限
赤血球製剤	25,189	採血後28日間
けっしょうせいざい血漿製剤	7,414	採血後1年間
血小板製剤	41,330	採血後6日間

## 緊急時における島根県赤十字血液センターから浜田供給出張所への血液輸送割合の変化



## 緊急的な血液輸送における所要時間の変化の一例



資料：R7年9月 島根県赤十字血液センターヒアリング調査結果  
 ※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多岐道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前：R5.7平日12時間平均  
 ※2 山陰道 (出雲IC～石見福光IC) 開通後：R7.7平日12時間平均

## 地域の声

### <島根県赤十字血液センターの声>

- 浜田供給出張所は、緊急の際は広島県から血液を輸送していましたが、山陰道が整備されたという背景もあり島根県内で対応するようになりました。
- 実際に、山陰道が開通することで東西の往来もスムーズになり、血液輸送本数も増加しました。山陰道が繋がってよかったと実感しています。



資料：ETCプローブデータ  
 ※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多岐道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前：R5.7平日12時間平均  
 ※2 山陰道 (出雲IC～石見福光IC) 開通後：R7.7平日12時間平均

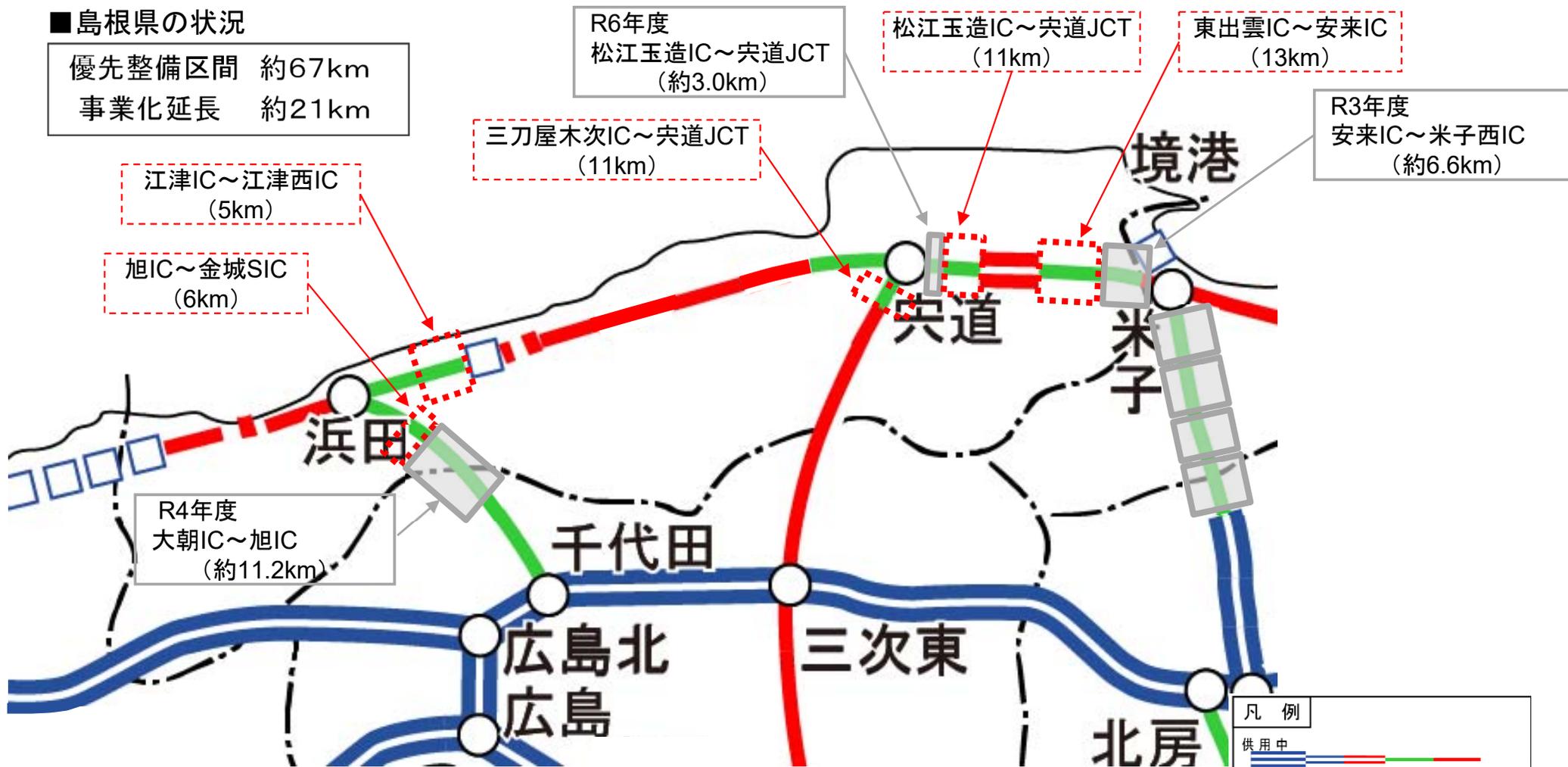
## 暫定2車線区間の4車線化

○中国地方では、有料暫定2車線区間 約196kmのうち、約58kmを事業化。

### ■島根県の状況

優先整備区間 約67km

事業化延長 約21km



R4年度  
大朝IC～旭IC  
(約11.2km)

R6年度  
松江玉造IC～宍道JCT  
(約3.0km)

松江玉造IC～宍道JCT  
(11km)

東出雲IC～安来IC  
(13km)

R3年度  
安来IC～米子西IC  
(約6.6km)

三刀屋木次IC～宍道JCT  
(11km)

江津IC～江津西IC  
(5km)

旭IC～金城SIC  
(6km)

4車線化未事業化区間

財政投融资を活用した4車線化等箇所(H31年度～R6年度)3箇所:約20.8km

凡例	
供用中	6車線 4車線 (有料) 4車線 (無料) 暫定 2車線 (有料) 暫定 2車線 (無料)
事業中	4車線以上 (有料) 暫定 2車線 (有料) 暫定 2車線 (無料)
調査中	

- 山陰道の工事進捗状況を現場見学会やSNS等を通じて発信
- 令和6年度は現場見学会16回実施、延べ約341人が参加



現場説明



重機乗車体験



お絵かき体験



- i-Constructionの一環として、山陰道のほぼ全ての工事(土工・舗装)でICT施工や点群データによる3次元施工管理を実施
- 松江国道事務所が取り組んだ内容としては、三刀屋拡幅や出雲バイパスの事業説明会において理解促進を図る目的で3次元データを活用

## <ICT施工の原則実施>



ICT施工機械



## <3次元データによる事業進捗説明>



3次元データを活用した事業の地元説明会

R6年度完成した工事は62件

うち ICT施工実施 15件

(ICT未実施工事は、橋梁補修工事、  
附属物工事、保守工事など維持系)

BIM/CIM工事 3件で実施。



地元説明会で使用した道路の完成イメージ図

# 建設業の働き方改革「週休2日宣言」

- 松江国道事務所管内の全工事で週休2日を宣言し、受・発注者一体で働き方改革を推進
- 快適トイレを原則導入する等、建設現場において働きやすい職場環境づくりに取り組む



↑ 週休2日宣言チラシ



↑ 建設現場に設置された快適トイレ



# 一般国道54号 三刀屋拡幅事業

## 事業概要

雲南市三刀屋町地内は中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋木次ICの開通や市街地の開発などにより車両、歩行者の安全確保等の課題が生じています。三刀屋拡幅は、このような課題に対し、安全性の向上を図り、周辺の土地利用を促進するなど、高速道路と連携した整備を進めています。

令和7年度は、雲南市三刀屋町三刀屋において改良工事、舗装工事を推進します。

## 事業箇所図



## 状況写真

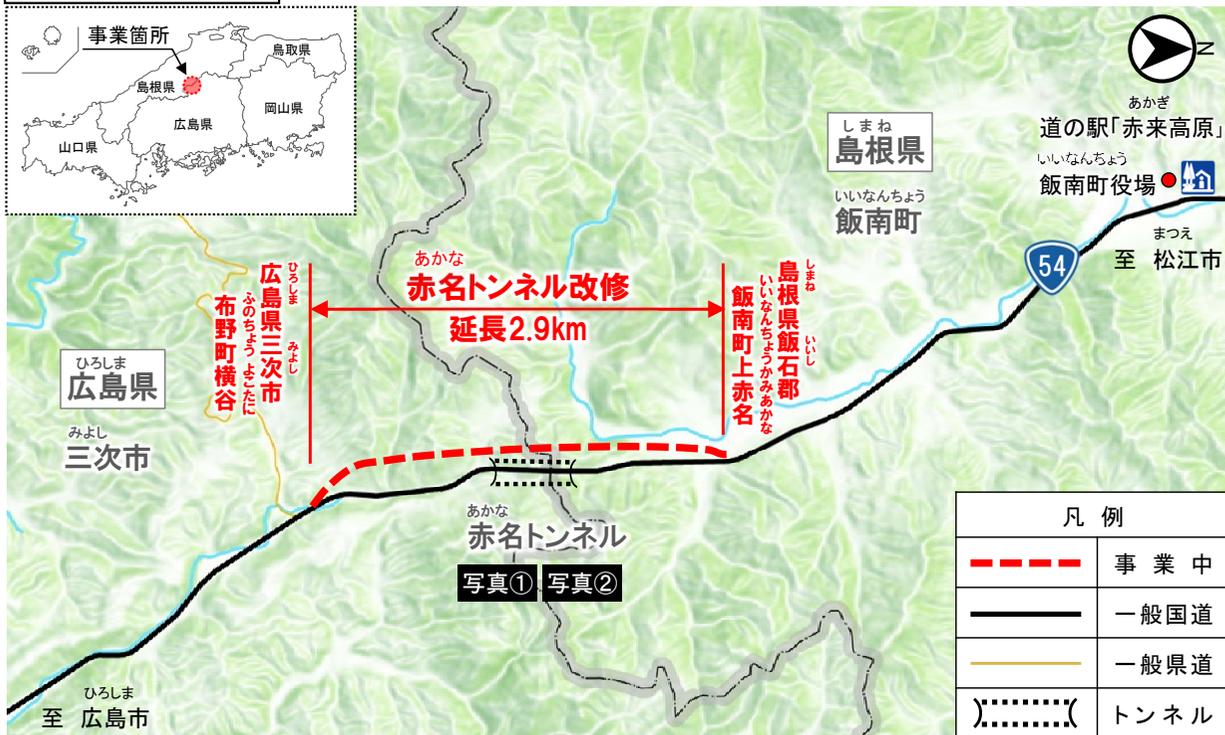


### 事業概要

島根県と広島県の県境に位置する該当区間では、経年劣化が進行した赤名トンネルが存在し、緊急点検などのメンテナンスによる長期の規制で地域生活に影響を及ぼしています。

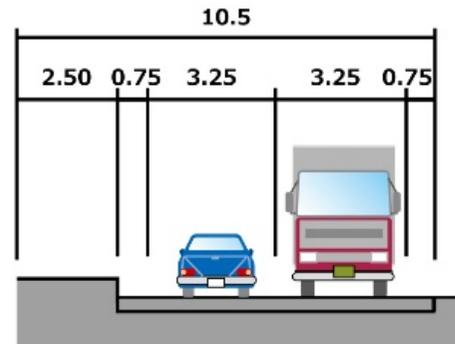
赤名トンネル改修は、交通インフラの強靱化を目的とした延長2.9kmのトンネル改修事業です。令和7年度は、調査設計に着手します。

### 事業箇所図

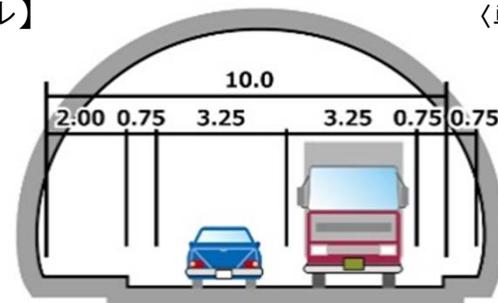


### 標準断面図

【土工】 (単位:m)



【トンネル】 (単位:m)



### 状況写真



【写真①】赤名トンネル緊急点検の様子(令和3年1月)

【写真②】赤名トンネルにおける車両の接触による損傷

# 令和7年度 交通安全事業・電線共同溝事業

## 交通安全事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間における交通事故対策や、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる道路空間の確保を目的として交通安全事業を進めています。

令和7年度は、13箇所において、調査設計、用地買収、用地補償、工事を推進します。



【大田市温泉津町福光】  
一般国道9号 福光交差点改良

## 電線共同溝事業概要

電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の保全、台風や地震時に電柱等の倒壊による道路の寸断を防止し、災害時におけるライフライン及び緊急輸送道路の安全性を確保することを目的として、電線共同溝事業を進めています。

令和7年度は、5箇所において、調査設計、本体工事、引込管路工事、連系管路工事、連系設備補償を推進します。



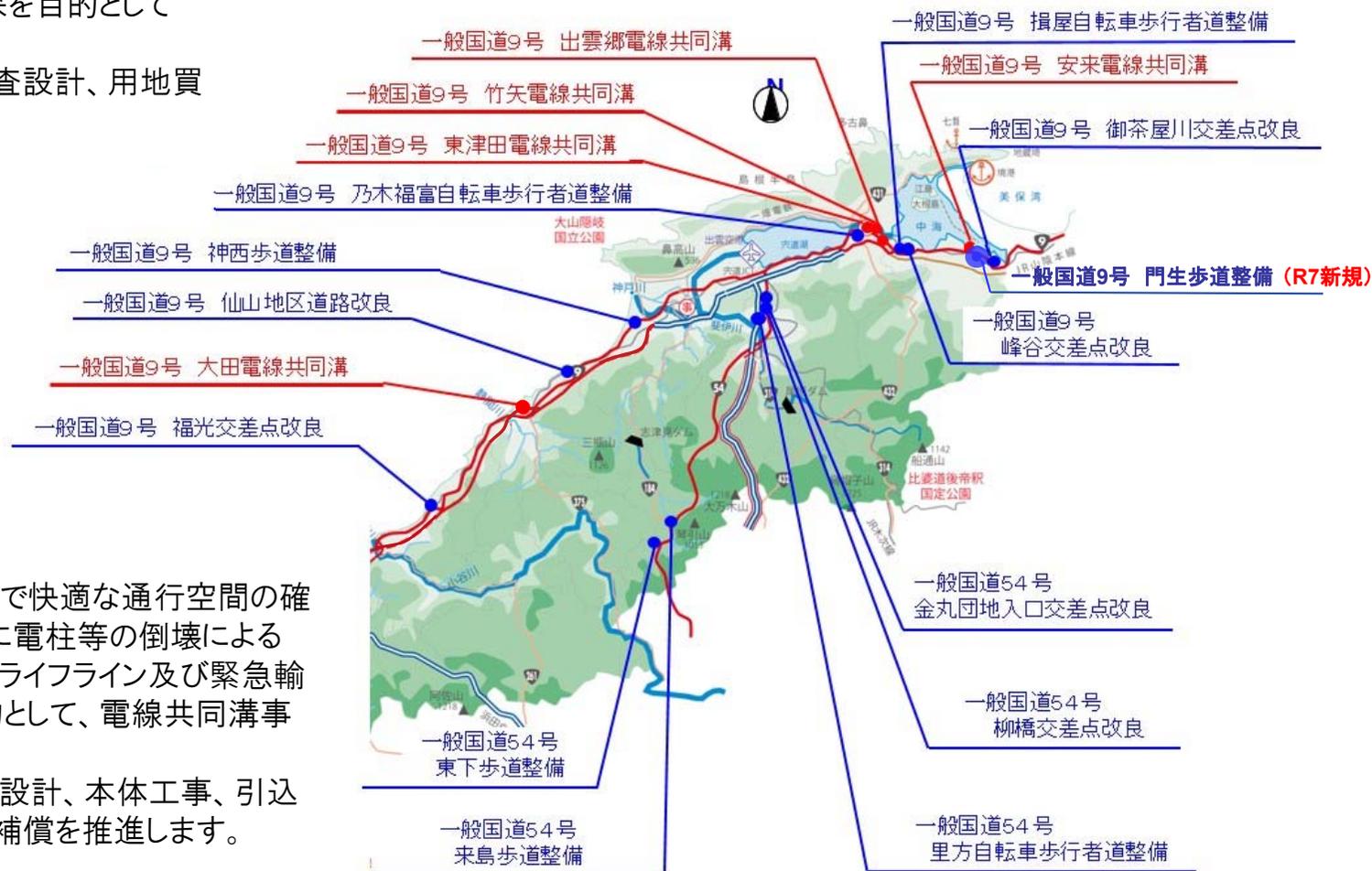
【現況】



【整備後イメージ】

一般国道9号 安来電線共同溝

R7 : 交通安全事業	700百万円
(当初) 電線共同溝事業	432百万円



電線共同溝事業	5箇所
交通安全事業	13箇所

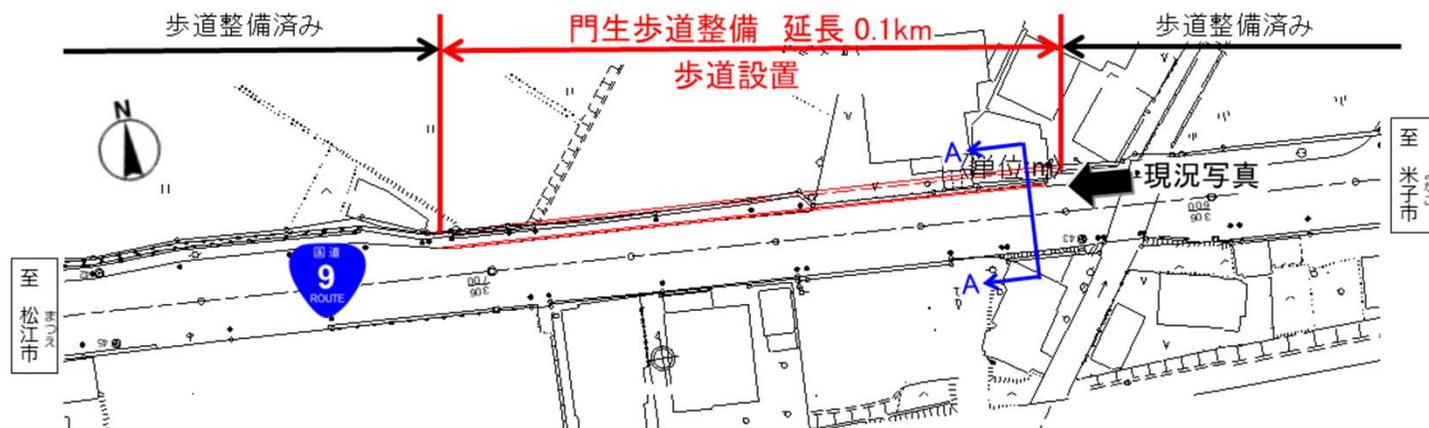
### 事業概要

当該箇所は、近傍に島田小学校が立地しており、通学路に指定がされているが、歩道未整備区間であり、危険な状況となっている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道整備を実施し、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。

令和7年度は調査設計を実施し、事業を促進します。

### 事業箇所図

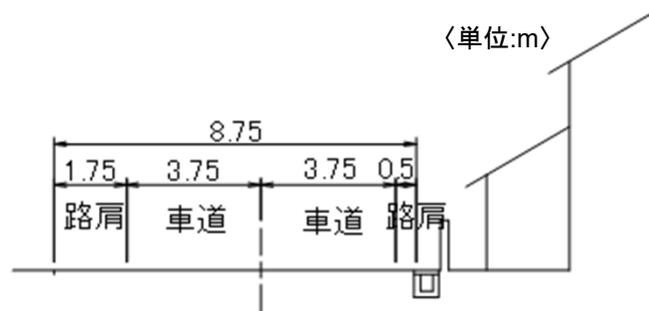


【現況写真】



### 標準断面図

【現況断面図(A-A断面)】



【計画断面図(A-A断面)】



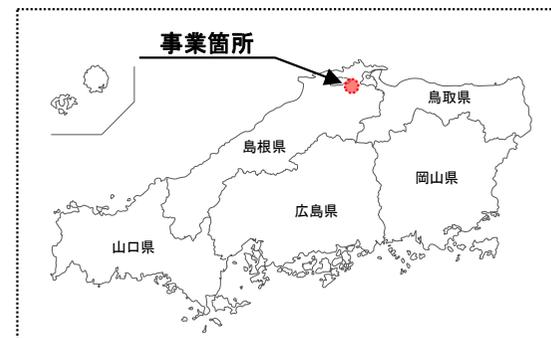
# 一般国道9号 乃木福富自転車歩行者道整備事業

のぎ ふくとみ

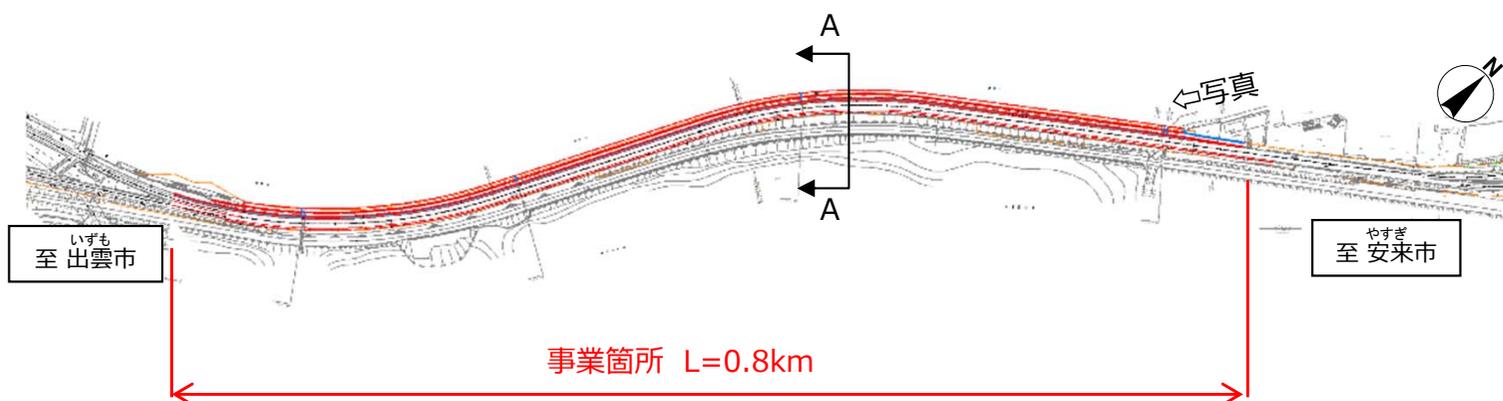
## 事業概要

当該箇所は、松江市内で唯一の歩道未整備区間である。歩行者や自転車の通行時には車両との接触事故の発生が懸念されることから、松江市玉湯町から松江市市内への高等学校への多くの自転車通学者は、県道浜乃木湯町線へ大きく迂回をしている状況である。本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区感重点解消作戦)の対象区間として、自転車歩行者道整備を実施し、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。

令和7年度は、調査設計を実施し、事業を推進します。



## 事業箇所図

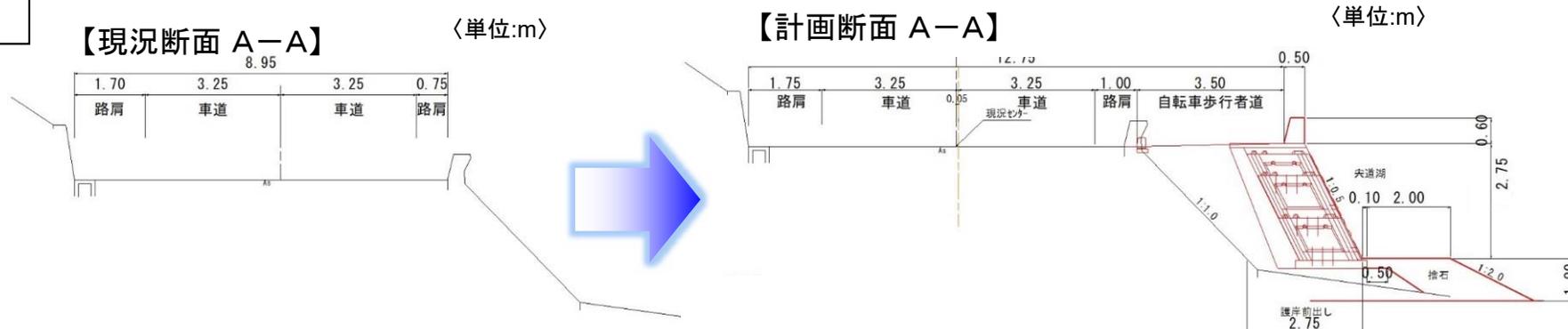


## 状況写真



写真: 通行状況(未整備区間を走行する学生)

## 標準断面図



# 一般国道9号 神西歩道整備事業

## 事業概要

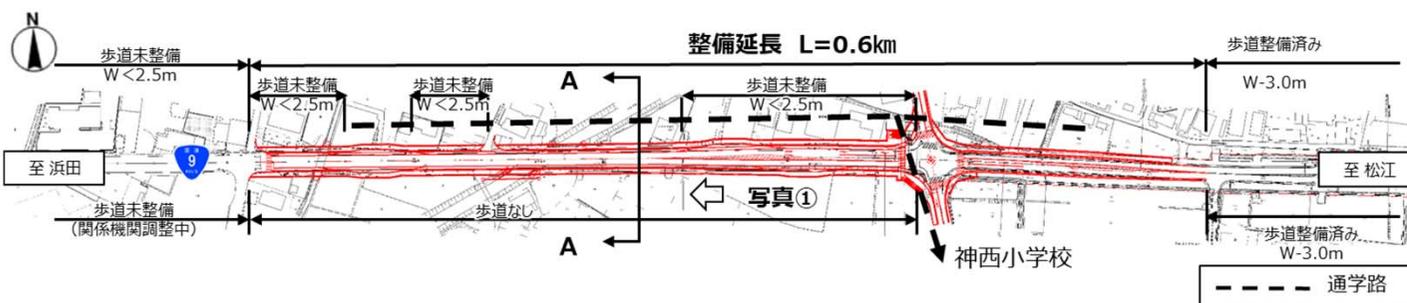
当該箇所は、小学校が近傍に存在するが、国道9号南側歩道は狭隘で通学路として利用できず、地域内道路をやむなく通学路として利用している状況となっている。本事業で歩道整備を行う。

令和7年度は、調査設計を実施し、事業を推進します。

## 事業箇所図



写真①: 神西小学校付近の通学状況



写真②: 地域内道路を通学路としてやむなく利用

## 標準断面図

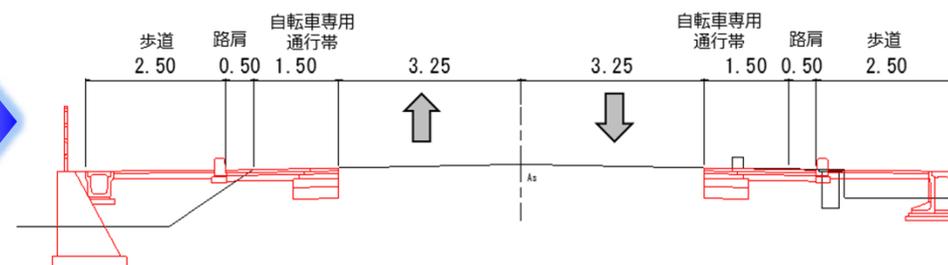
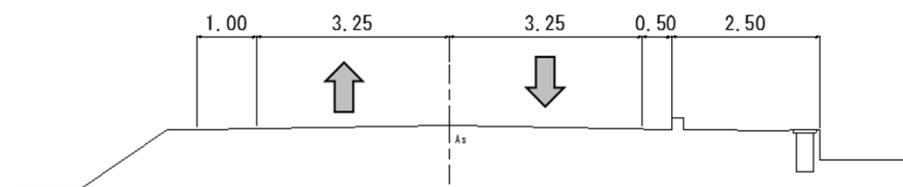
### ■ A-A断面

### 【現況断面図】

〈単位:m〉

### 【計画断面図】

〈単位:m〉



# 一般国道54号 来島歩道整備事業

## 事業概要

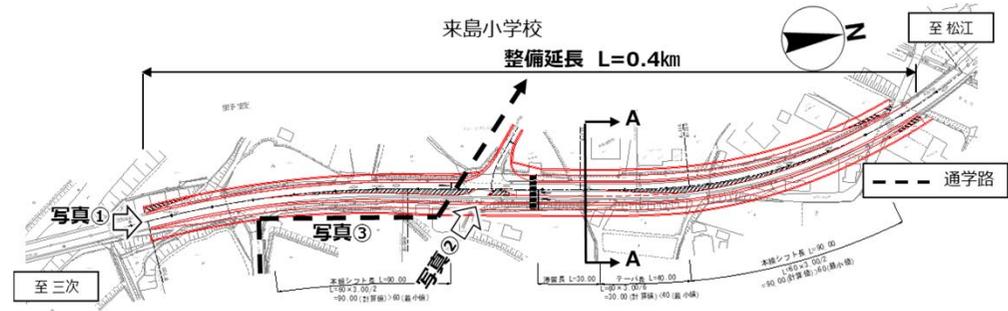
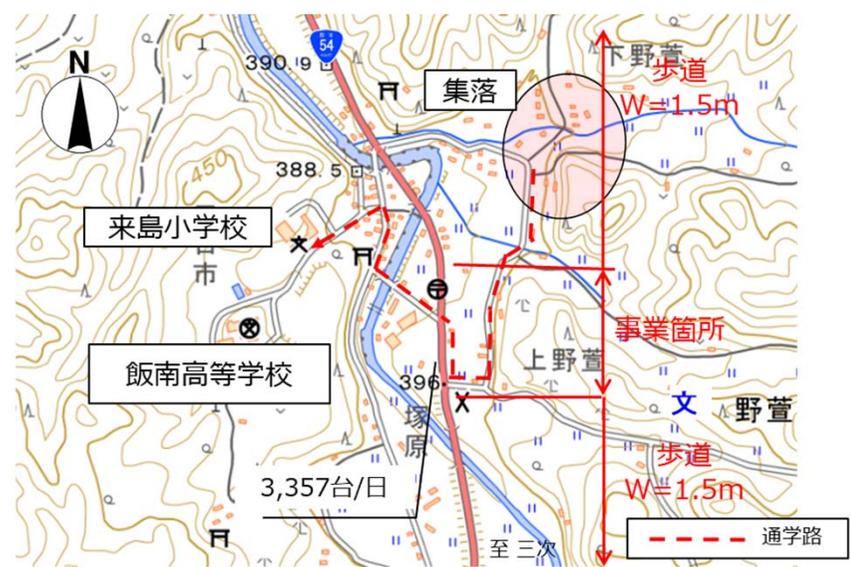
当該箇所は、来島小学校への通学路となっている。この事業区間内には地域の生活道路である町道との流出入が多い交差点があり、歩行者と車両が輻輳し、危険な状況となっている。

当該区間はやまなみ街道サイクリングルート(モデルルート)にも位置づけられており、歩道整備に合わせて自転車走行空間の整備も行う。

令和7年度は、調査設計を実施し、事業を推進します。



## 事業箇所図



## 状況写真



写真①: 下り方向

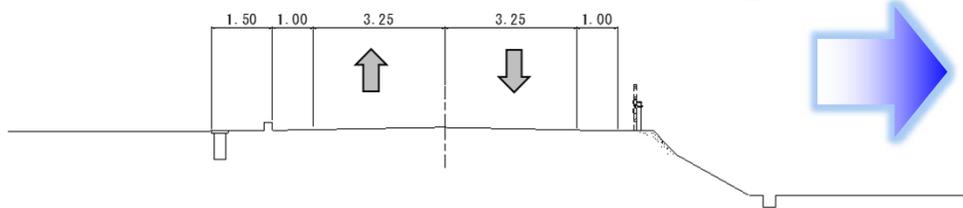
写真②: 交差点付近の状況

写真③: 通学路利用状況

## 標準断面図

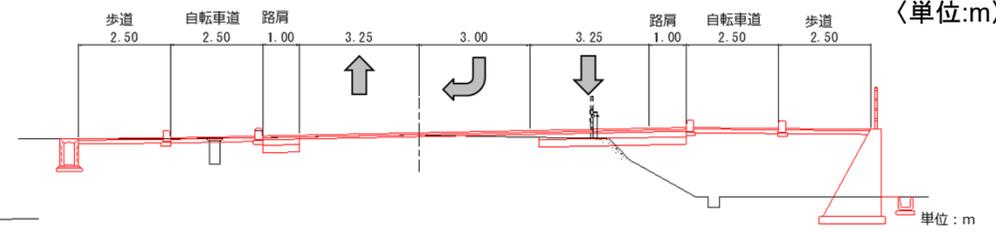
【現況断面図】

〈単位:m〉



【計画断面図】

〈単位:m〉



# 一般国道54号 柳橋交差点改良事業

やなぎ ばし

## 事業概要

当該交差点は、加茂中学校・加茂小学校の通学路として指定されているが、横断歩道部の歩行者溜まりが狭小なため危険な状況にある。また、国道54号では右折車線が無いいため、右折待ち車両への追突事故が発生するなど危険な状況である。R3年度通学路合同点検において要対策箇所に指定されている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩行者溜まりの拡幅を図るとともに、加茂柳橋交差点において、右折車線を設置することで安全・安心な道路空間の確保を行うものである。

令和7年度は、調査設計を実施し、事業を推進します。



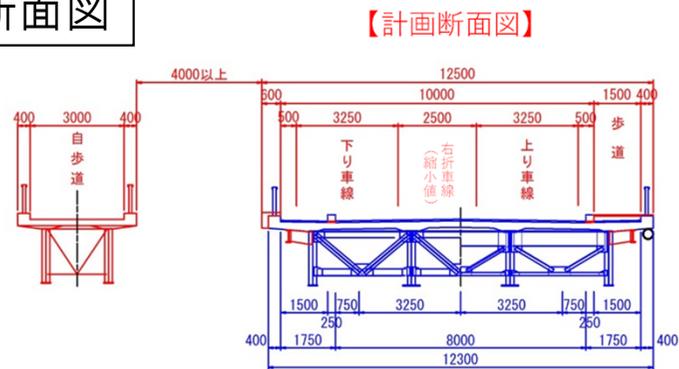
## 事業箇所図



### 凡例

- : 通学路
- : 歩道設置・拡幅箇所

## 標準断面図



## 状況写真



# 一般国道9号 福光交差点改良事業

ふくみつ

## 事業概要

当該箇所は、右折車線のない交差点であり、朝夕のピーク時を中心に右折待ち車両に伴う滞留が発生している。このため、交差点手前のカーブ区間での減速や停車により、追突事故が発生する危険な状態となっている。

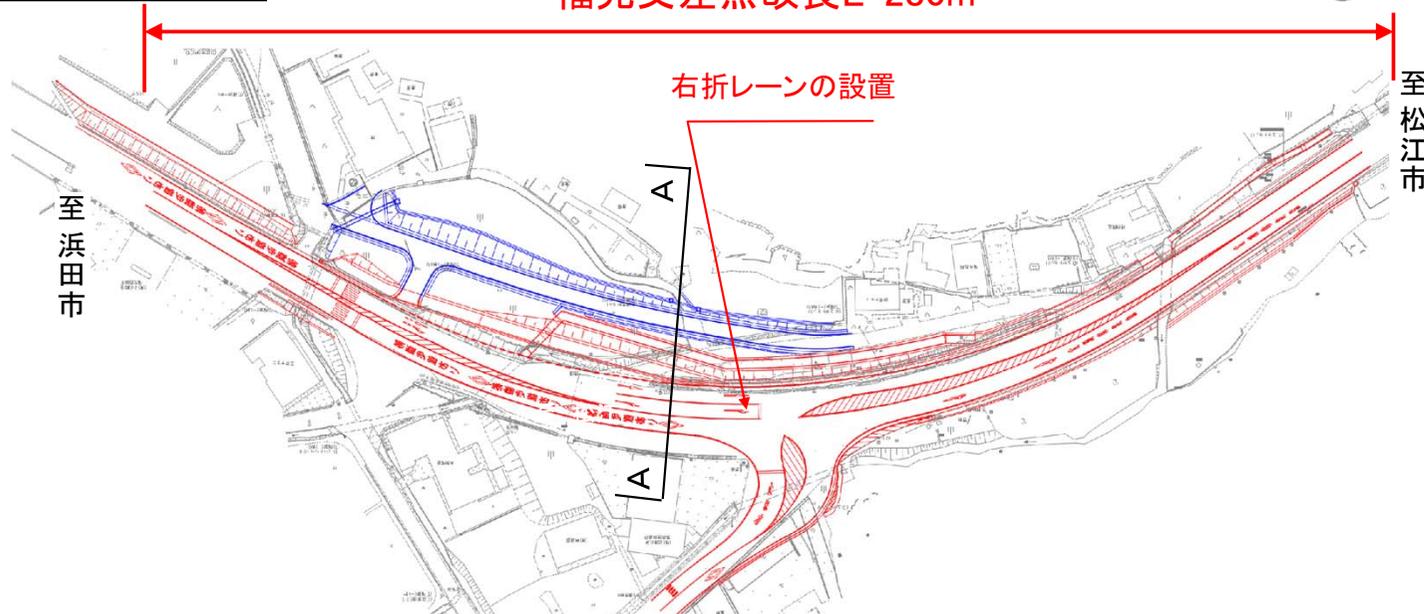
本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、右折車線の設置により、追突事故の解消を図るものである。

令和7年度は、改良工事を実施し、事業を推進します。



## 事業箇所図

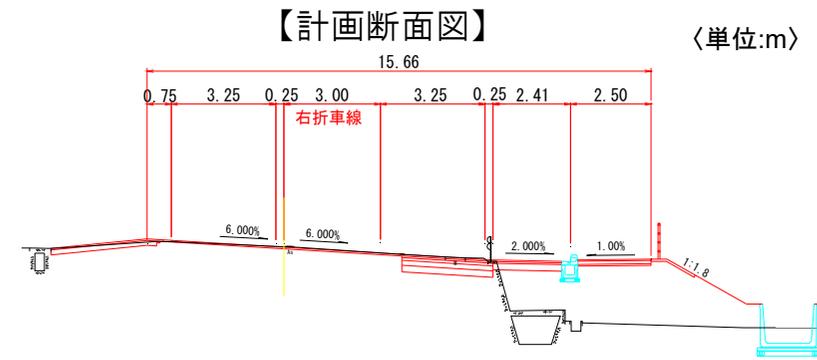
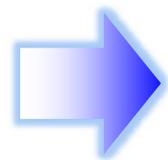
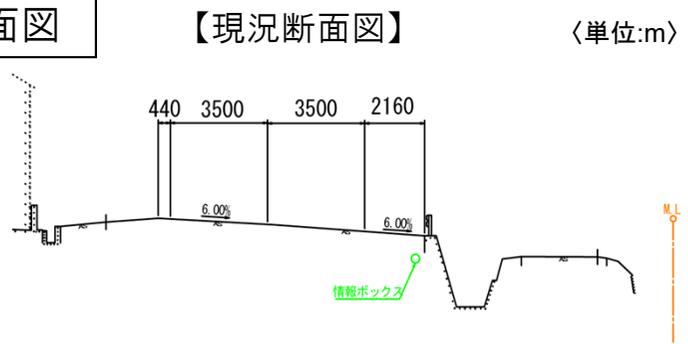
福光交差点改良L=280m



## 状況写真



## 標準断面図



# 一般国道9号 安来電線共同溝事業

やすぎ

## 事業概要

本事業箇所は、商業施設等が立ち並ぶ安来市の商業地域に位置するとともに、安来駅を中心としたあんしん歩行エリアに指定されていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時等における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものである。令和7年度は、調査設計及び工事等を推進します。



安来電線共同溝

## 事業箇所図



## 状況写真



### 《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>

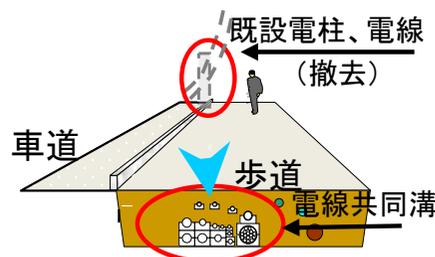


<歩行者の支障となる電柱の事例>

## 標準断面図



### 《イメージ図》



・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の向上が期待されます。